

2023年度 自己評価結果公表シート

2024年3月8日
遊学舎武雄こども園

1. 本園の教育・保育理念

The One（園に関わる全ての人と現象が唯一無二）
～一人ひとりの子どもを大切にし心を育てる～

2. 本園の教育・保育方針

- ・そのままの自分を認められること
- ・夢中になって遊びこむこと
- ・自分の居場所を見つけること
- ・本物にふれる体験を 心揺さぶられる出会いを

3. 本年度、重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 教育課程・指導…個人の発達、想いに応じた教育・保育の実践。
- 保健管理…園児の健康診断の実施（年2回）、日々の健康観察。
- 資質向上の取組…園内外における研修への参加、報告、実践。
- 子育て支援…一時預かり保育事業の充実による0号支援、子育て講演会の実施、各種フィールドワーク実施。
- 幼保小連携…円滑な連携・接続。
- 教育環境…施設設備・遊具や教具の安全点検・環境整備。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
教育課程・指導	B	一人ひとりの成長過程を職員間で共有し、それぞれの子どもの良さが引き出される保育ができた。応答的保育を意識的に行い園が安心基地となるよう努めた。
保健管理	A	園医・歯科健康診断、尿検査2回実施。毎日、保護者との連携を欠かさず小さな変化に気づけるよう対応できた。コロナ対策として毎日の消毒や検温等も欠かさず行った。
資質向上の取組	B	教育・保育と食育、サイエンス、アートが協働し多角的な保育が行われた。職員が主体的に園内研修に参加し、より深い学びに繋がった。また、職員研修として認定こども園の園長、職員に来園して頂き年に1度のポスターセッションと公開保育を行い、職員の意識向上に努めた。

子育て支援	A	一時預かり保育を0号支援として継続して実施できている。子育て講演会も開催できた。普段の様子や食育を通し定期的な動画配信も行った。各種フィールドワークを実施し、保護者支援に繋げることもできた。
幼保小連携	A	小学校との連絡会では担任と小学校教諭で想いを伝え合い、卒園児の引継ぎができた。中学校との学び合い講座を2回行うことができた。
教育環境	A	学校薬剤師による定期検査ができた。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	園理念である“ The One ”と4つの柱の教育・保育方針に則って日々の教育・保育に従事する職員が増えた。しかし絶対的な武雄こども園としての教育・保育確立のため、継続した職員研修をし、引き続き自己研鑽に努めていく必要がある。

6. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
受容共感的教育・保育	園児一人一人の心もちや想い、眩きをしっかり受け止め、深い愛情を基盤とした教育・保育を行う。園児の心情育成に繋がる言葉遣いや態度を心がける。
職員エンゲージメント向上	職員の想いを反映した年間保育計画を作成することでより主体的に職務に従事できる体制づくりに取り組む。役職に関わらず全員が理念達成のため主体的に動く職員集団づくりを目指す。
主体的な教育・保育の実現	より主体的な教育・保育実現のため、サイエンス、食育、アートを個の興味・関心に沿ったプロジェクト化し、自然な形での異年齢交流を目指す。

◎「4, 5」の評価結果の表示方法

A	十分に達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である